



《こども版》 としょかんだより No. 328

2011年
12月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



★ = 1・2年
★★ = 3・4年
★★★ = 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

「しあわせアパート」 ★ 仁科 幸子／作 偕成社



はりねずみとあかりすが、クッキーをつくっています。とちゅうで、こどりのホオジロが、こっそり、クッキーに“しあわせになる”いたずらをしました。大きなブナの木のアパートにすむどうぶつたちの、たのしいおはなしが5つ入っています。

「ペットショップはぼくにおまかせ」 ★★

ヒルケ・ローゼンボーム／作 徳間書店

ティミーは、金魚のえさを買いに、ペットショップに行きました。すると、店のオウムとカメがとつぜん話しかけてきて、旅行に行った主人のかわりに店番をしてほしいと言います。最初のお客は、ヒキガエルのおならが止まらなくてこまっている男の子でした。



「親子のための地震イツモノート」 (ちしきの本)

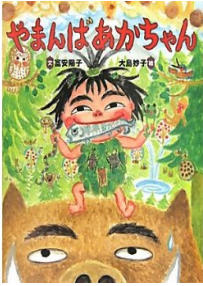
地震イツモプロジェクト／作 ポプラ社



はんしん あわじだいしんさい うちゅうせん
阪神・淡路大震災がおきたとき、そこにいた人々は、「宇宙船がおちてきた」とか「山が噴火した」と思ったそうです。地震の直後や避難所のようなすなどを紹介しています。地震がおきたときのために、“イツモ”何をしておけばよいか分かる本です。

あたらしくはいった本

えほん



「やまんばあかちゃん」 富安 陽子／作 理論社

むかしむかし、とってもむかし。富士山が^{ふじさん}大ばくはつして、大きな^{いわ}岩がとびだしました。中から生まれたのは、やまんばのあかちゃん。森のどうぶつたちが、じゅんばんにめんどうをみることになりました。まずさいしょは、大イノシシです。

ものがたり

「ダンダンドンドンかいだんおばけ」 ★ 角野 栄子／作 小峰書店

ヒロのいえのかいだんには、ふたごのおばけがすんでいます。なまえはダンダンとドンドン。なかよくなりたいたヒロとおとうとのタッチャンですが、ほんたいのことやうそばかりいうおばけたちに、二人はこまってしまいます。



「ぼくって女の子??」 ★★ ルイス・サッカー／作 文研出版



「ひじの外がわにキスしたら女子になる」と言われたマーヴィン。ベッドから落ちた時に、ぐうぜんキスしてしまってからというもの、何だかへんなのです。声は高いし、字もていねいだし、いじめられている女の子にやさしくなるし……。女の子になったのかな？

「ゆらゆら橋からおんみょうじ」 ★★

広瀬 寿子／作 佼成出版社

京都の^{そふぼ}祖父母の家^{すてまる}にきたサトシは、森の中で、細いつり橋をわたってきた少年、捨丸に出会います。有名な陰陽師の^{おんみょうじ}安倍晴明の弟子だと言う捨丸は、修行が^{しゆぎやう}うまういかなくてなやんでいました。友だちになったサトシは、修行に^{きやうりよく}協力することになります。



ものがたい

「 走れ！マスワラ 」 ★★★

グザヴィエ＝ローラン・プティ／作 PHP 研究所



アフリカに住む少女シサンダは、心臓しんぞうの病気にかかっています。手術しゅじゅつをするには、とてもお金がかかるのです。シサンダの母、マスワラは、マラソンに出場して優勝賞金ゆうしょうしょうきんをかせぐことを思いつきました。ところが、練習中、サソリに足を刺さされてしまいます。

「 シーラカンスとぼくらの冒険 」 ★★★ 歌代 朔／作 あかね書房

ある日マコトは、地下鉄に乗っている古代こだいの魚シーラカンスを見て、びっくりします。それは“陸りくシーラカンス”というめずらしい生き物で、しかも人間の言葉を話しました。マコトは、「星が見たい」というシーラカンスを、プラネタリウムに連れていくことにします。



ちしきの本

「 できるまで大図鑑 」 小石 新八／監修 東京書籍



高さ634mの東京スカイツリーは、最新さいしんの技術ぎじゆつの他に、五重ごじゅうの塔とうに使われている昔ながらの建築の知恵もいかされています。巨大な建物から身近な食べ物まで、いろいろな物がどのようにできあがるのか、絵と写真で紹介しています。

「 ぼくはアニマルトレーナー 」 宮沢 厚／作 ポプラ社

チンパンジーのパンくんは、舞台ぶたいでおしばいをしたり、買い物をしたりできます。それは、トレーナーの宮沢みやざわさんが、パンくんを楽しみと思うことを教えて、ひたすらほめてあげるからです。宮沢さんとパンくんの、楽しい毎日やテレビの裏話うらばなしなどがのっています。



こんげつのとくしゅう

おくりものの本

クリスマスやたんじょう日。おくりものは、もらうのもあげるのも楽しいですね。



「クリスマスのちいさなおくりもの」 (えほん)

アリスン・アトリー／作 福音館書店

びょうきのおかあさんのかわりに、そのいえのねこやねずみが、クリスマスのじゅんぴをすることにしました。

「すずめのくつした」 ★ ジョージ・セルデン／作 大日本図書

アンガスがすずめのためにつくったくつしたが、大ひょうばんに！

「六本そでのセーター」 ★★ 令丈 ヒロ子／作 小峰書店

おばあちゃんからのプレゼントは、なんと、そでが六本あるセーターです。

「うれしい日のプレゼント」 (ちしきの本) 尾崎 曜子／作 アリス館

身のまわりざいりょうにある材料を使って、くふうしながら、クリスマス・リースやパーティーグッズなどを作ってみましょう。

シリーズしょうかい



「チュウチュウ通りのゆかいななかまたち」シリーズ

(ものがたり) ★

エミリー・ロッダ／作 あすなる書房

ハツカネズミのすむネコイラン町には、チュウチュウ通りというすてきな通りがあります。1番地ばんちから10番地までに住むネズミたちがかつやくする、たのしいシリーズです。

「ゴインキョとチーズどろぼう」

1番地のゴインキョは、チーズをたくさんもっているお金もちです。あるばん、きみのわるいてがみがとどきました。あわてているところに、三びきのどぶねずみがやってきます。

「マージともう1ぴきのマージ」

8番地にすむのは、まじゅっし魔術師のマージ。マジックショーをしたり、あたらしい魔法まほうをかんがえたり、いつも大いそがしです。じかんがほしいマージは、もう一ぴきのじぶんをつくることしました。

< 編集・発行 >

富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273

